

令和3年度 学校関係者評価委員会報告

北見医師会看護専門学校令和3年度自己評価結果に基づき、令和3年6月10日（木）開催の学校関係者評価委員会における評価と意見を以下のとおり、報告いたします。

自己評価が適切になされているかを5段階で評価		
5：そう思う、4：ややそう思う、3：どちらでもない、2：あまり思わない、1：思わない		
大項目	平均点 (R2年度)	意見・感想等
I. 教育理念 目的・卒業生像	4.83 (4.5)	<ul style="list-style-type: none"> ・学生便覧やホームページなどにより、理念等が周知されている。学校で問題があった場合の「指針」としてこれに基づき教職員は話し合い、学生指導に役立てていただきたい。 ・具体的指標に沿った教育に対し、先生方の努力と北見医師会生としての学ぶ環境を評価する。 ・理念・目的が確信できていて良い。 ・1回生、2回生ともに20名を超える卒業生が地元就職しており、地域医療に貢献されていると思う。
II. 学校運営	4.83 (4.43)	<ul style="list-style-type: none"> ・各種会議や委員会が定期的開催され議事録もしっかりとられているので適切に運営されている。 ・職員会議に全ての職員が出席できていなかったが、出席できる体制を整えるとよい。 ・適切に行われていて分かりやすい。
III. 教育活動	4.66 (4.14)	<ul style="list-style-type: none"> ・授業評価を何らかの形で科目担当者にフィードバックし効果的な授業に繋がることを期待する。 ・教員ラダーや看護研究など資質向上の取組みがなされている。 ・評価項目[自分は看護研究に取り組んでいる]の点数が昨年より上がっている。自己研鑽されているのがよくわかる。 ・臨地実習教育における実習インストラクターの指導・育成にも考慮してほしい点がある。学生を萎縮させないのびのびとした教育対応を教員全員ができることを望む。
IV. 学生指導 等	5.0 (4.57)	<ul style="list-style-type: none"> ・学生のメンタル面も考えられている。 ・学生や教員のメンタルサポート体制が充実している。学生や保護者からの相談が受けられている。 ・リエゾンナースを活用する取り組みは学生も保護者も安心できると思う。
V. 学修成果	4.33 (4.43)	<ul style="list-style-type: none"> ・国家試験対策が1年次から計画的にとられている。学習習慣が身につくような働きかけがなされていると思われる。 ・卒業生の動向は、個人情報等から把握の難しさがある。評価項目、評価基準の見直しをすることも必要ではないかと考える。 ・卒業生の活躍を是非知ってほしいと思う。卒業生を受けた病院としては、いつでも情報を提供する。卒業生は頑張っている。 ・社会的規範意識が成長できる専門学校であり、少しでも退学者が出ない校風であってほしい。

		<ul style="list-style-type: none"> ・高い合格率（国家試験）だと思ふ。学力の課題をもつ学生が少なからずいる中で、全員に近い合格率であることから、学校、先生方の熱心な指導がうかがえる。 ・途中退学の予防は課題となる。
VI. 学生支援	4.66 (4.50)	<ul style="list-style-type: none"> ・学生支援や相談体制が整っており実践されている。保護者説明会はコロナ禍での難しさがあるので個別対応ができるシステムをつくることも必要である。 ・コロナ禍では集団での保護者説明会は難しい。対面ではない方法を検討してみてはどうか。 ・コロナ禍での保護者面談等ができなかったため、どう対応していくかが今後の課題となる。 ・丁寧な指導の足跡が感じられる。こうした学生への寄り添いあつての学修成果なのだと思う。
VII. 教育環境	4.66 (4.00)	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年よりネット環境の改善がなされている。チューター活動の評価がされている。 ・教育に必要なネット環境が整い良かった。コロナ禍では特に必要である。 ・セキュリティに問題があったので課題となる。
VIII. 学生募集	4.50 (4.29)	<ul style="list-style-type: none"> ・推薦入学生の減少は少子化の表れとして大きな課題と考えられる。メンタルヘルス体制の整備、国試対策などきめ細やかな教育、指導を行っていることのアピールを、学校訪問やホームページに工夫していき、学生確保に努める。 ・オンライン説明会を開く等、学校側の努力が伝わった。 ・国家試験合格率、手厚い指導をしていることを、もっと訴えると良い。不合格であった学生の卒業後の合格率が低い学校もある中で、諦めさせず指導されている点も高校訪問等で触れるとよい。 ・少子化の時代に学生を集めるのが課題である。
IX. 財務	4.5 (4.00)	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員が学校経費を把握できるようにしている。 ・昨年、点数が低かった項目で、今年度は説明の機会を持ったようで、点数が上昇した。努力の成果である。
X. 法令等の遵守	5.0 (4.50)	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員が学校運営の改善に取り組む姿勢が大いに感じられる。 ・一部の学生による SNS の投稿等の問題を隠さずに公表してくれたことは、逆に学校を信頼することができる。 ・様々な学生の課題を抱えながら苦勞されながらも教育機関としてまた看護師養成校として取り組まれている様子がわかった。
XI. 社会貢献・地域貢献	4.5 (4.36)	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で社会貢献に制限されるのはやむを得ない。 ・学生の自己肯定感（地域に必要とされている）を高めさせるためにも今後ますます大切な項目であると思ふ。「ありがとう」と言われる活動があるとよい。 ・社会貢献を通じ社会人としての自覚をもってほしい。